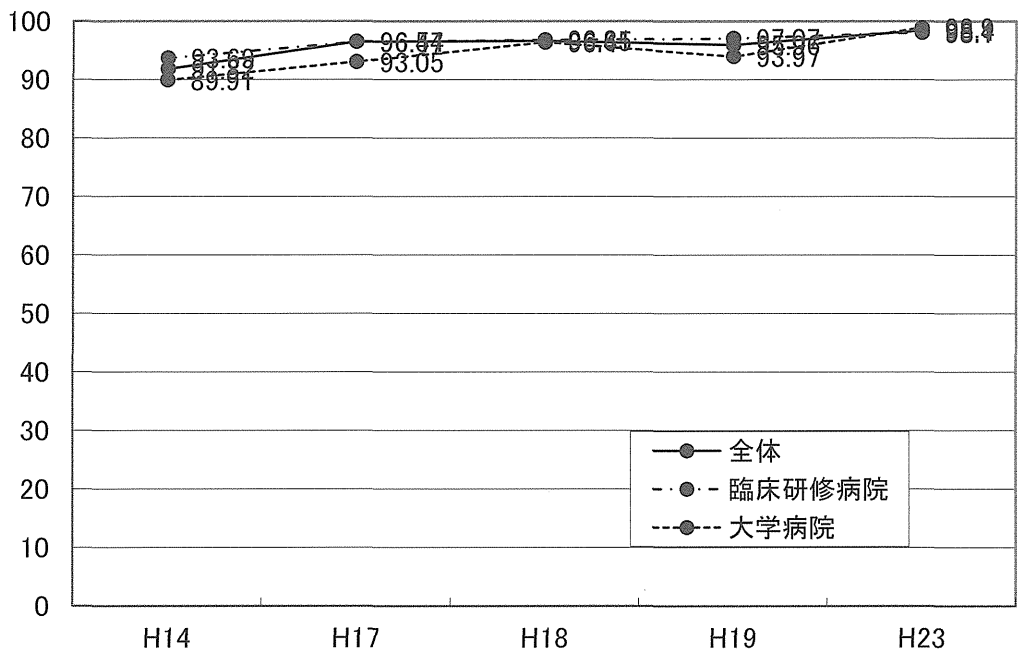
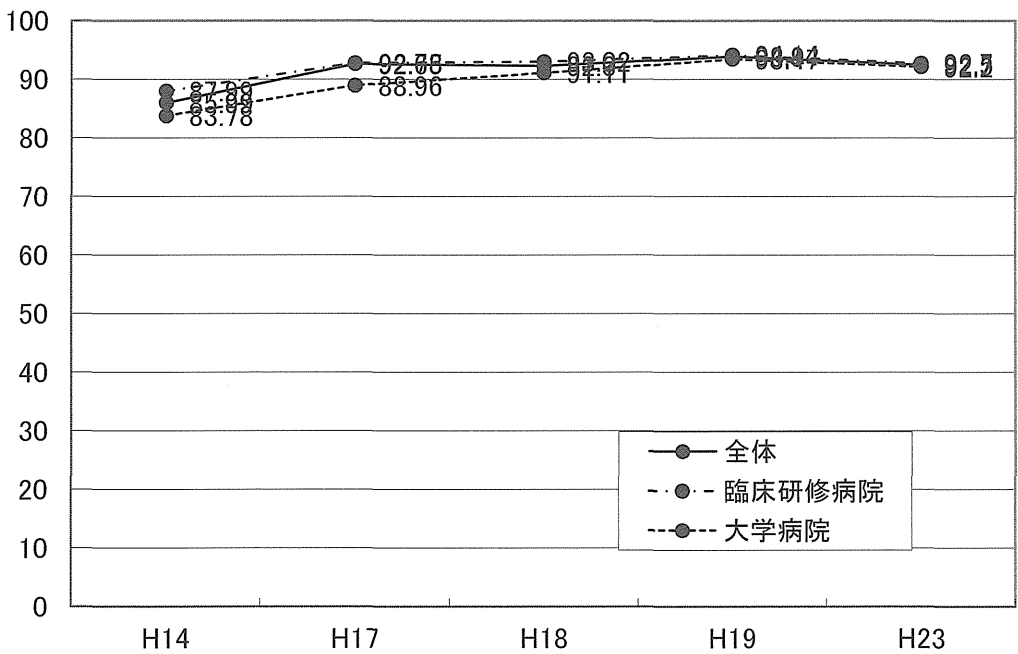


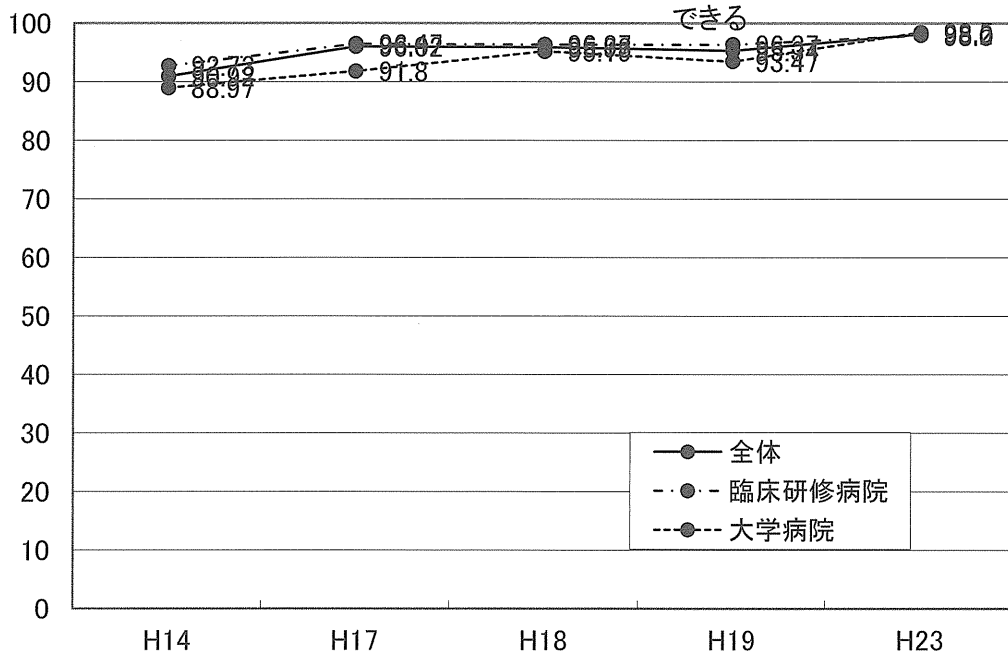
血液生化学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる



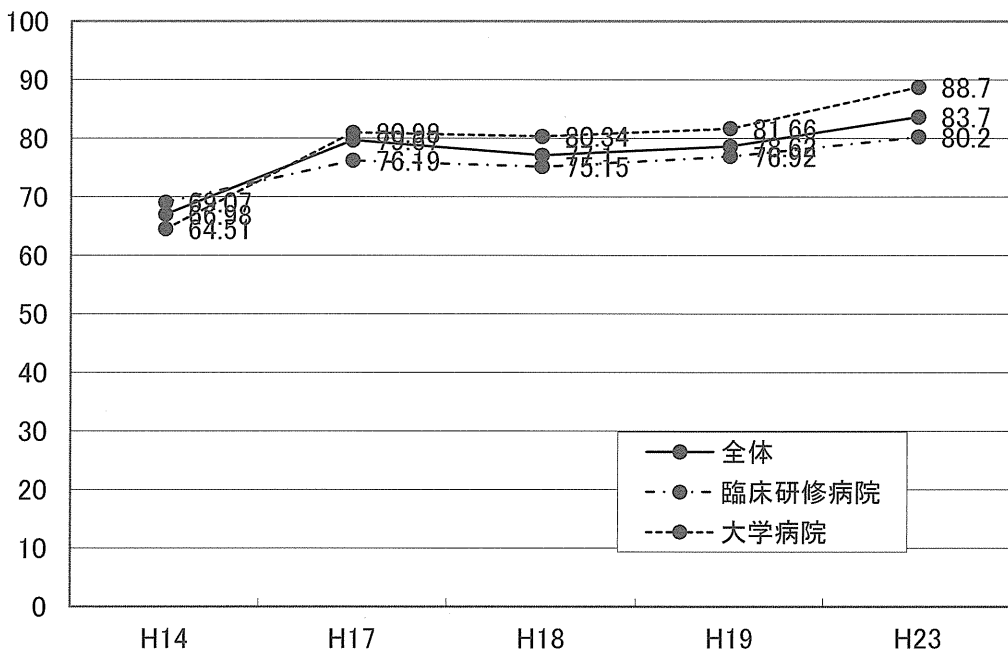
血液凝固機構に関する検査を指示し、結果を判定できる



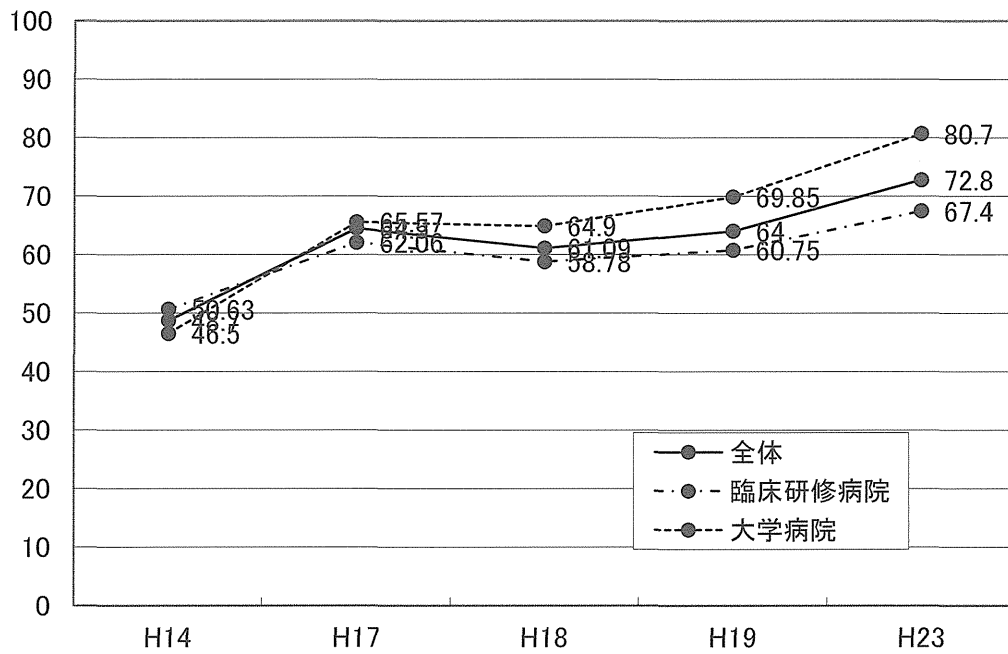
簡易検査(血糖、電解質、尿素窒素など)の適応が判断でき、結果の解釈が



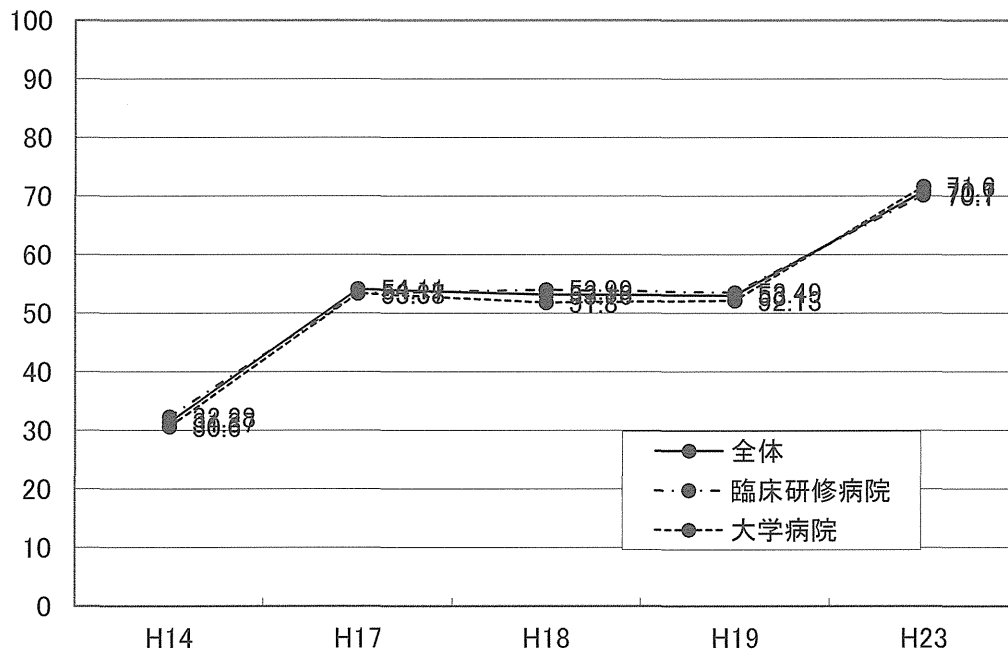
血液免疫血清学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる



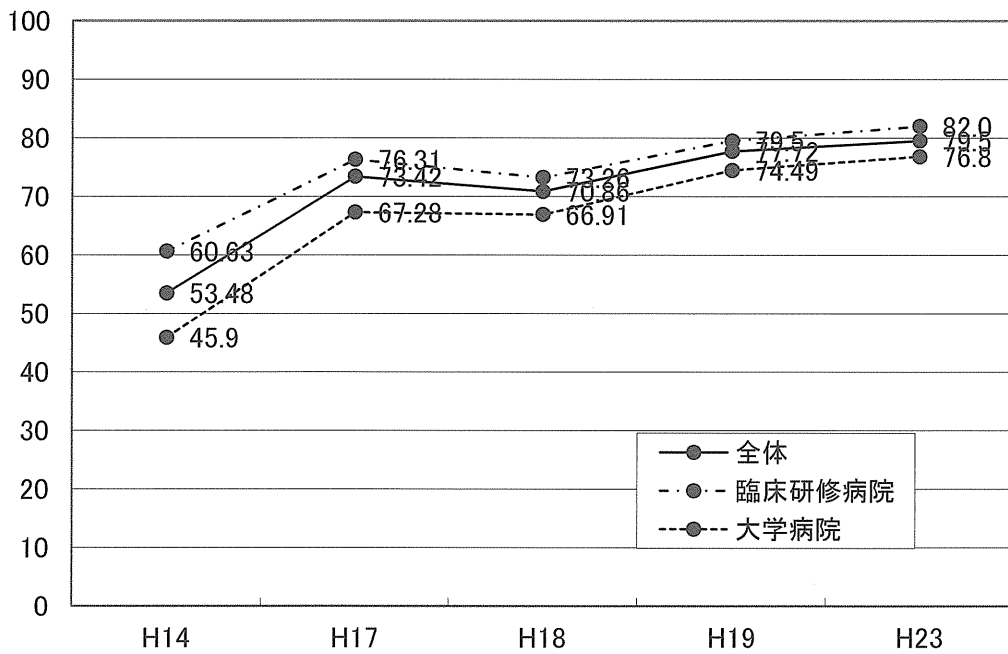
内分泌学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる



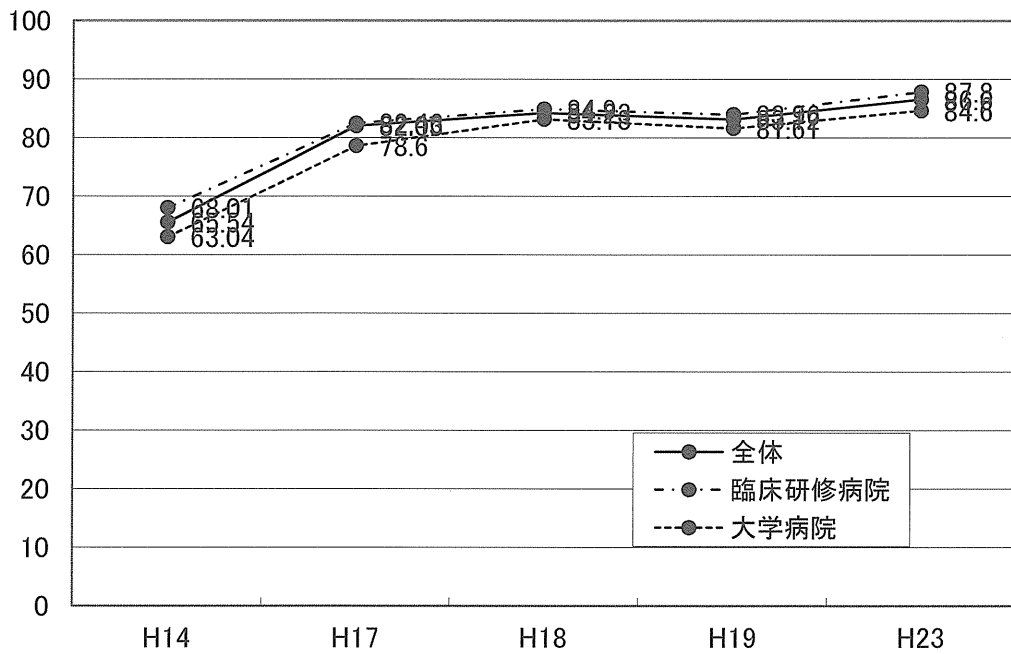
グラム染色を行い、結果の解釈ができる



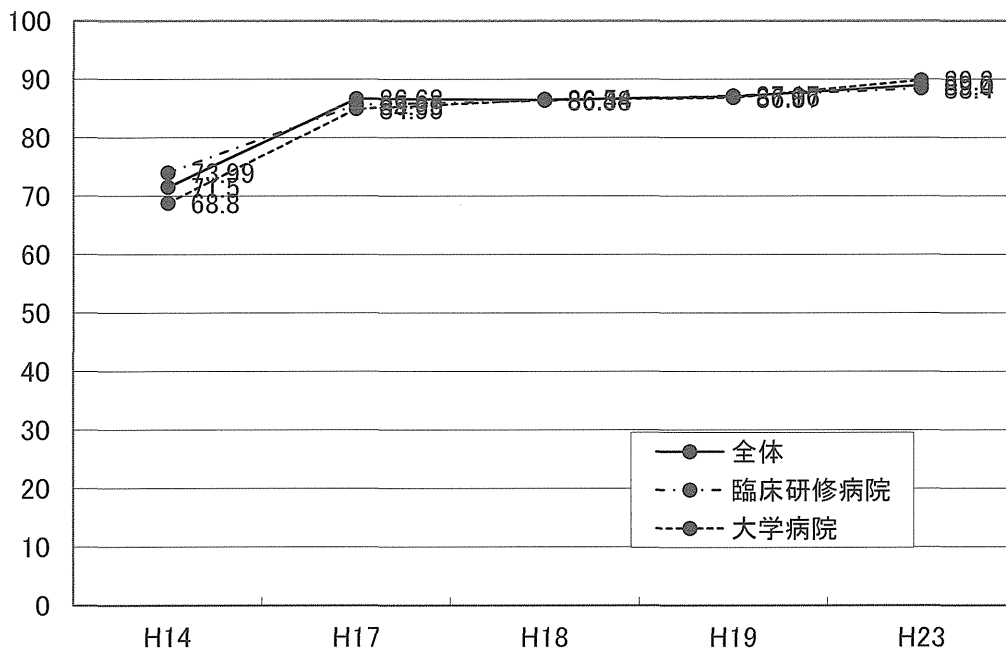
髄液検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる



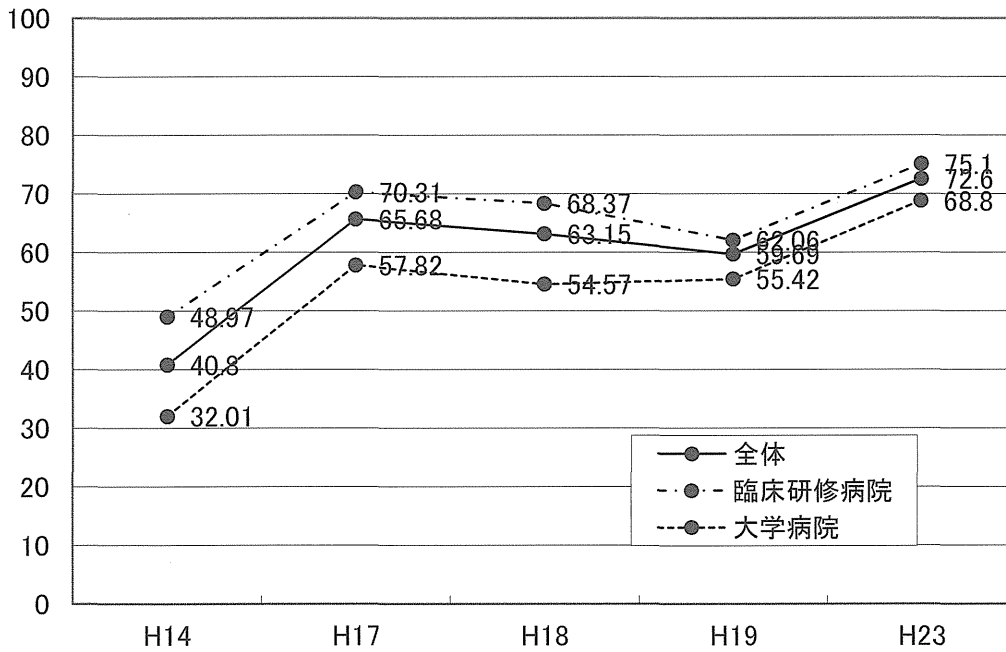
心電図検査を自ら実施し、不整脈の鑑別診断ができる



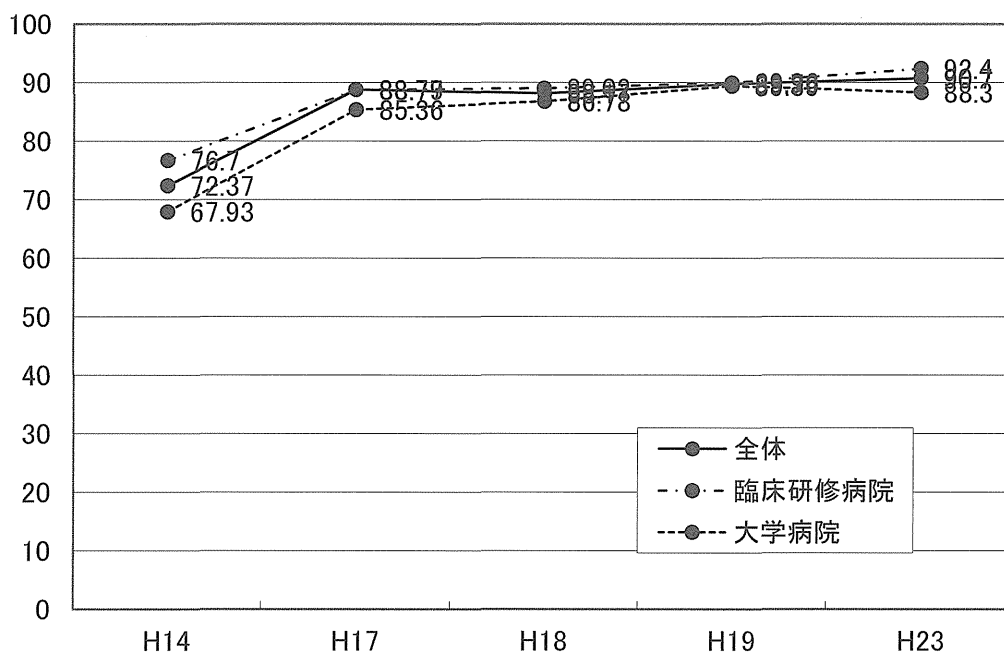
肺機能検査で閉塞性換気障害の判定ができる



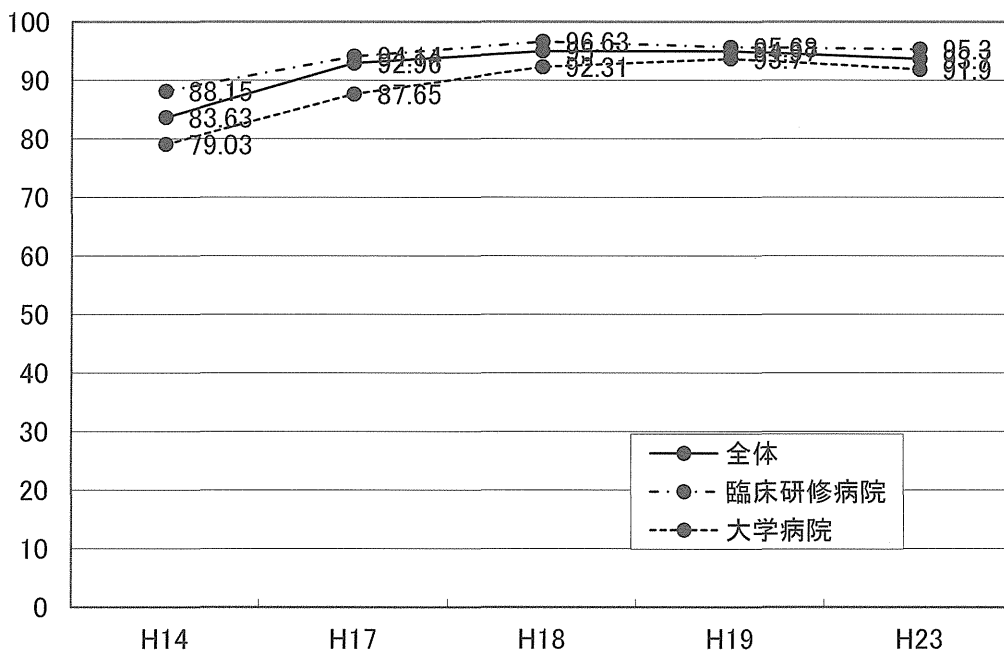
超音波検査を自ら実施し、胆管拡張の判定ができる



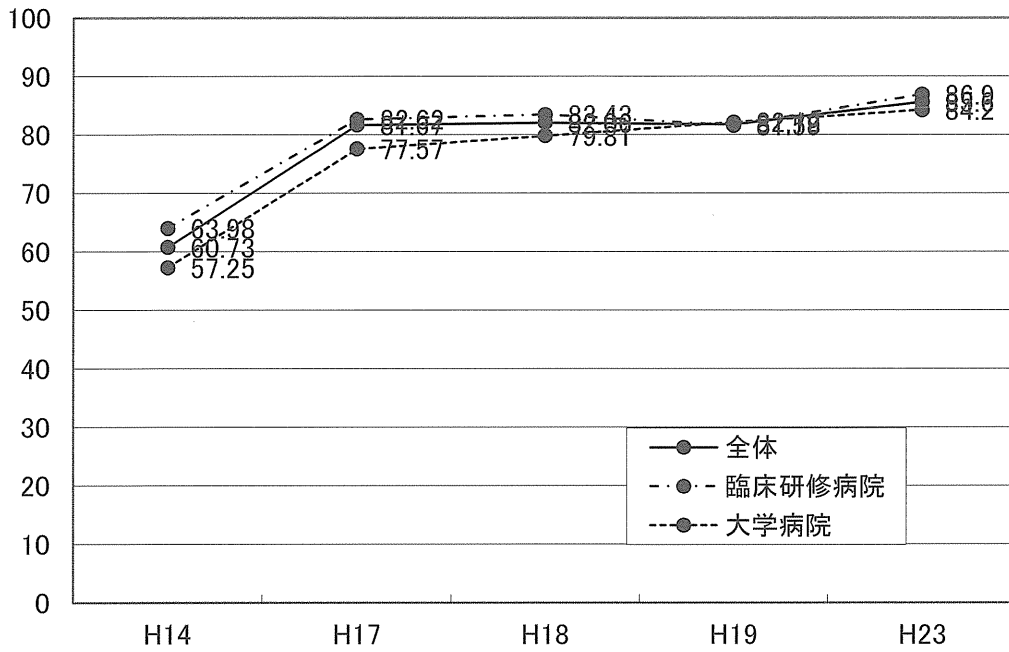
胸部単純X線でシルエットサインを判定できる



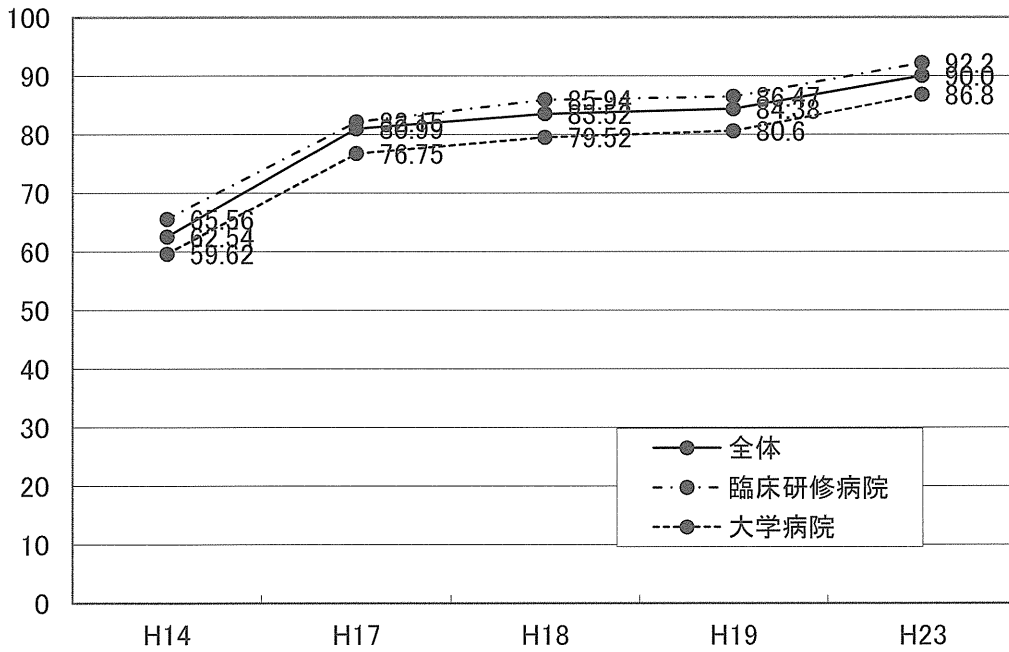
腹部単純X線でイレウスを判定できる

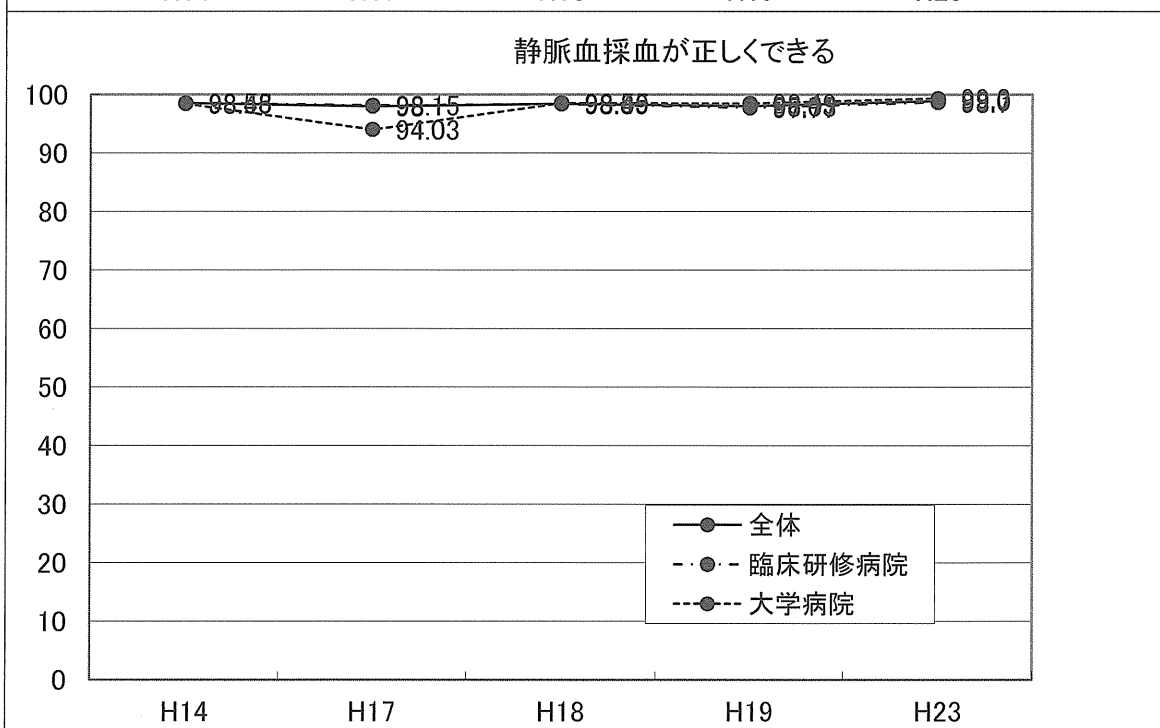
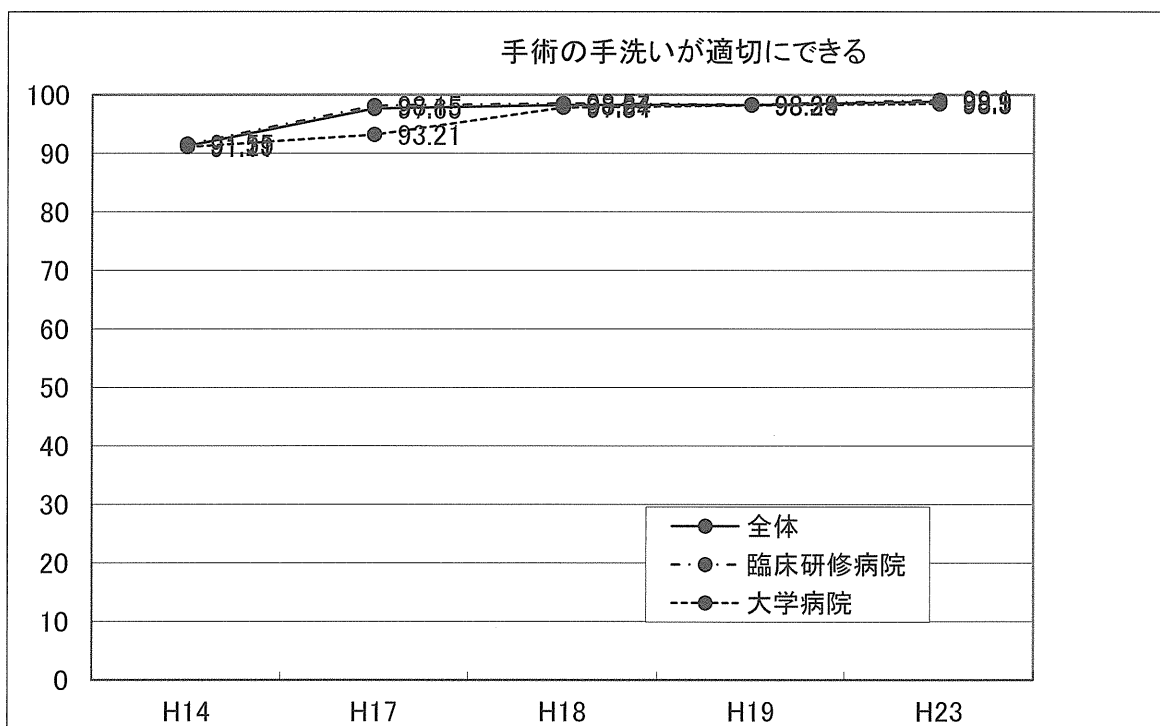


胸部CTで肺癌による所見を見出すことができる



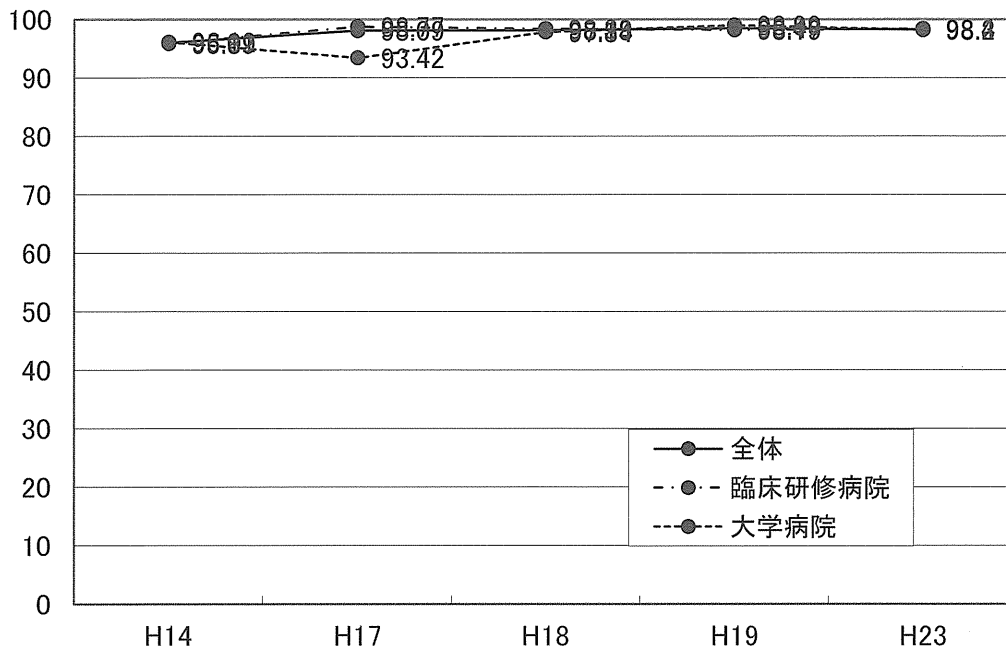
頭部MRI検査の適応が判断でき、脳梗塞を判定できる



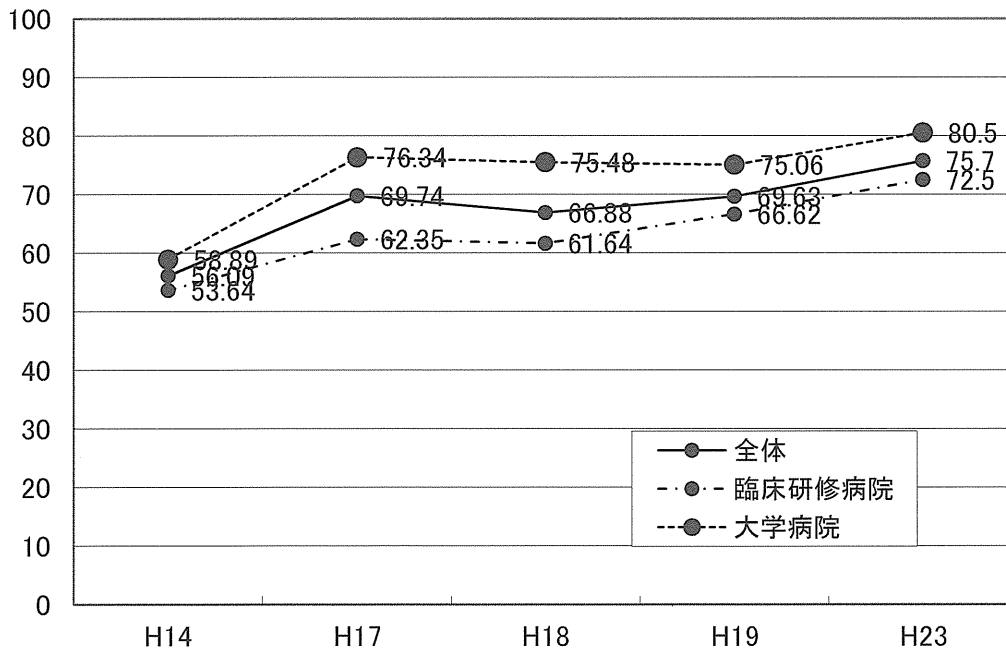


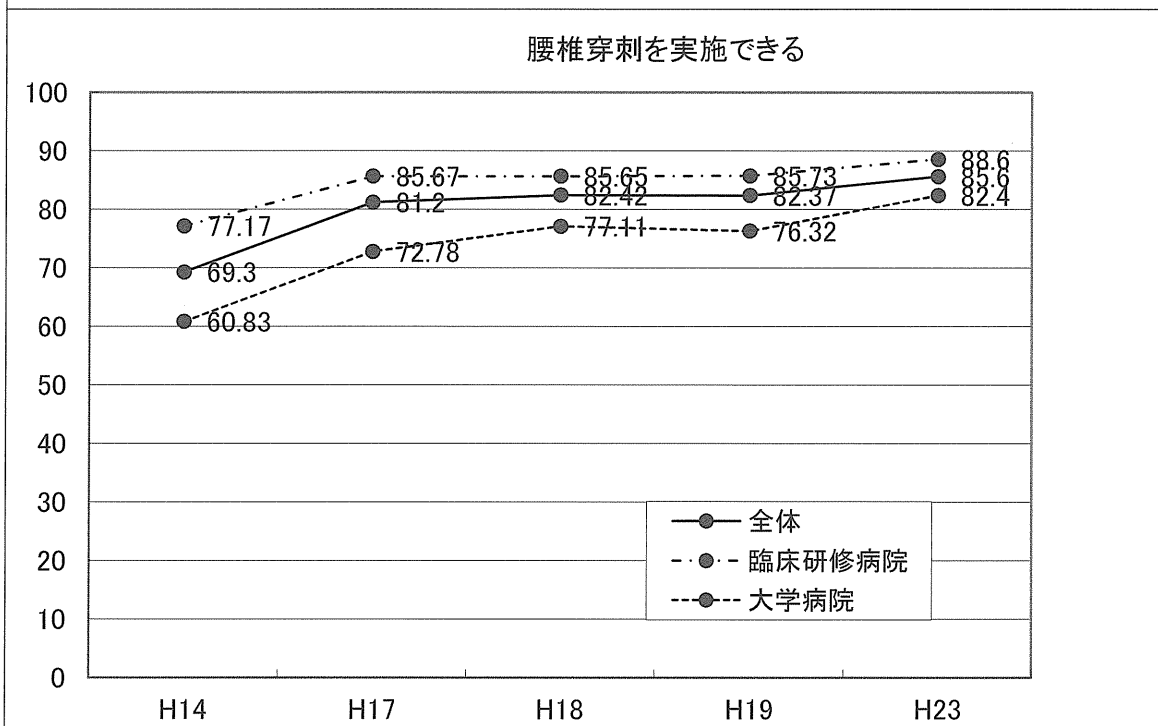
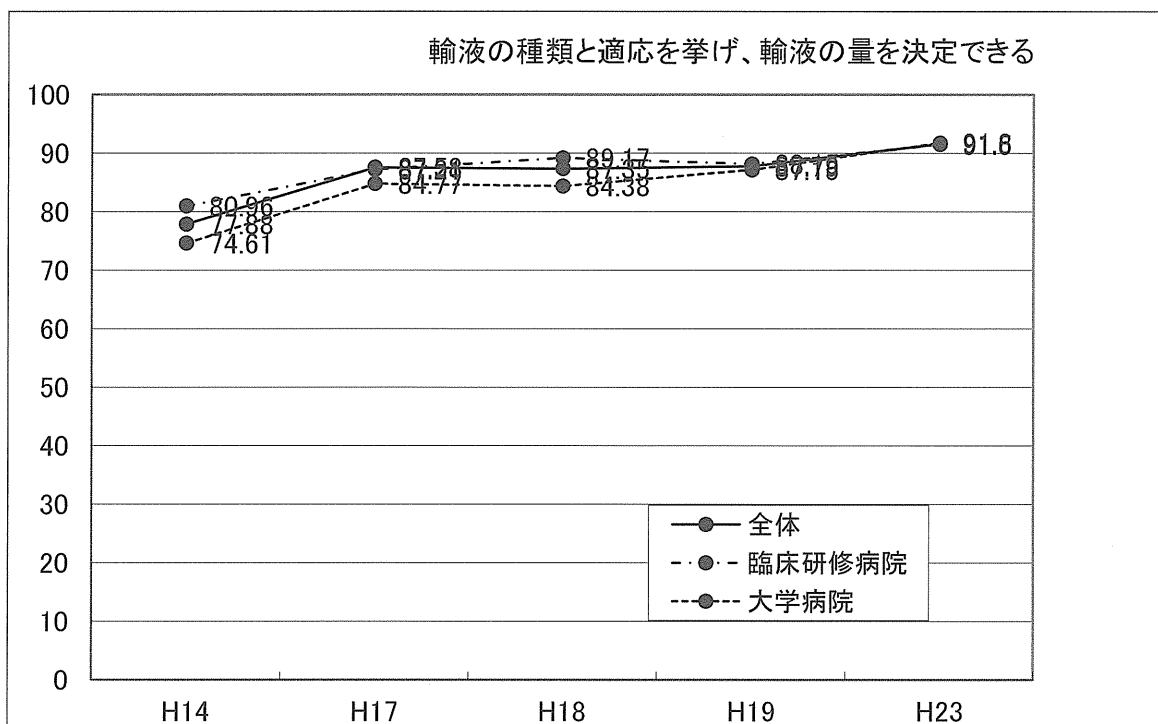


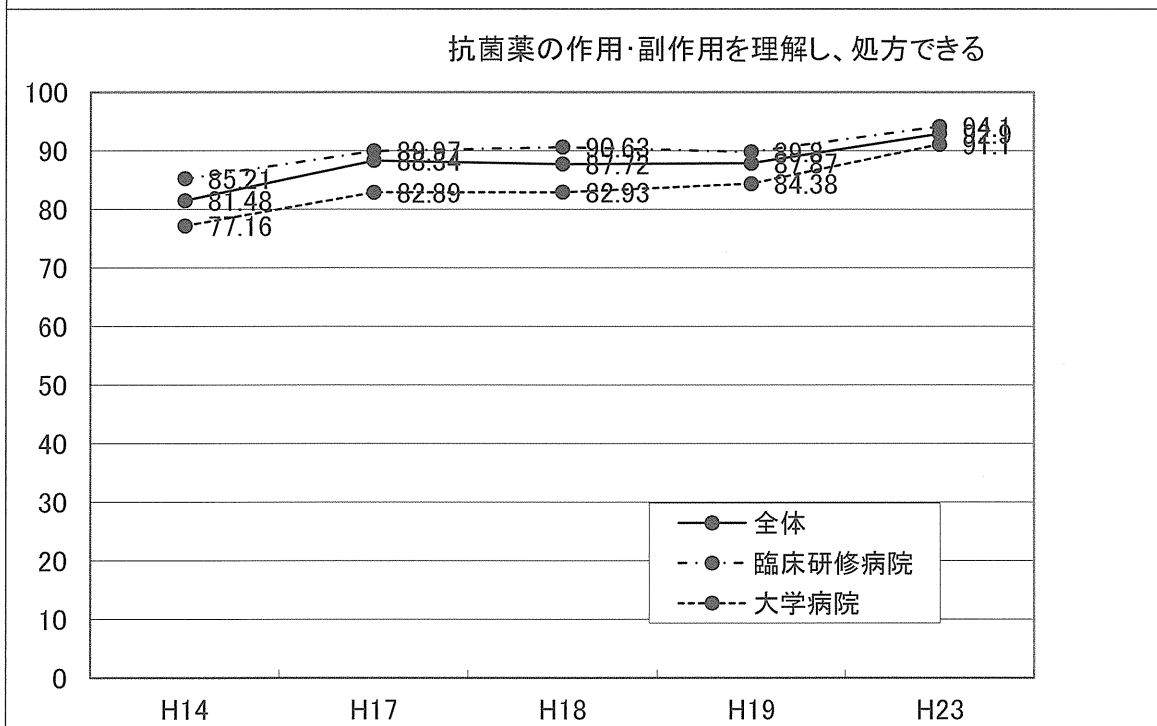
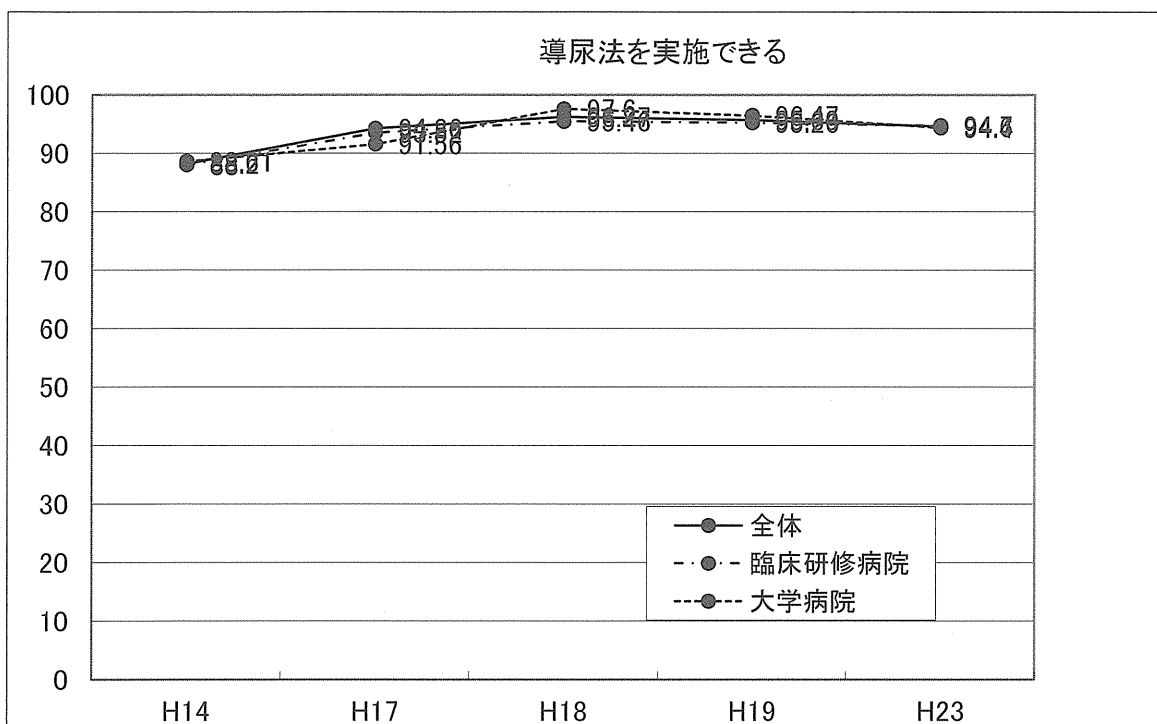
動脈血採血が正しくできる



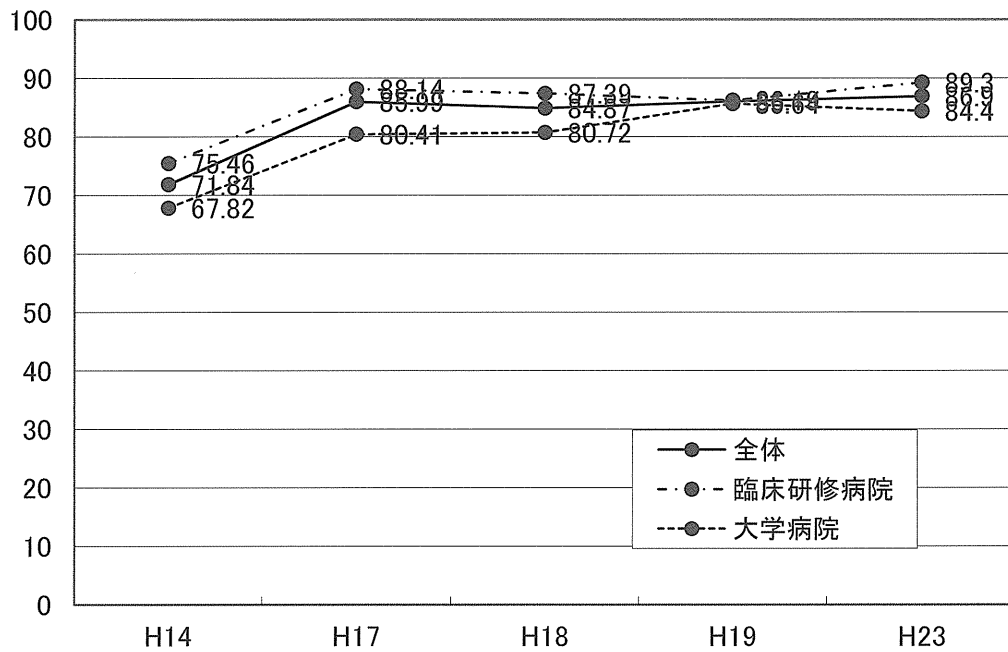
血液型クロスマッチを行い、結果の判定ができる



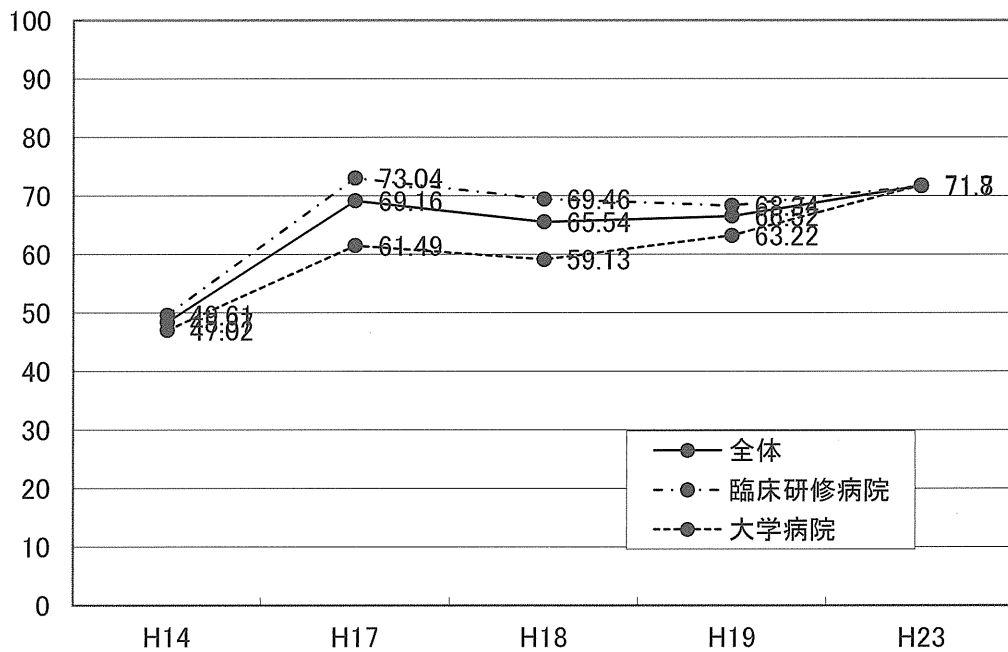




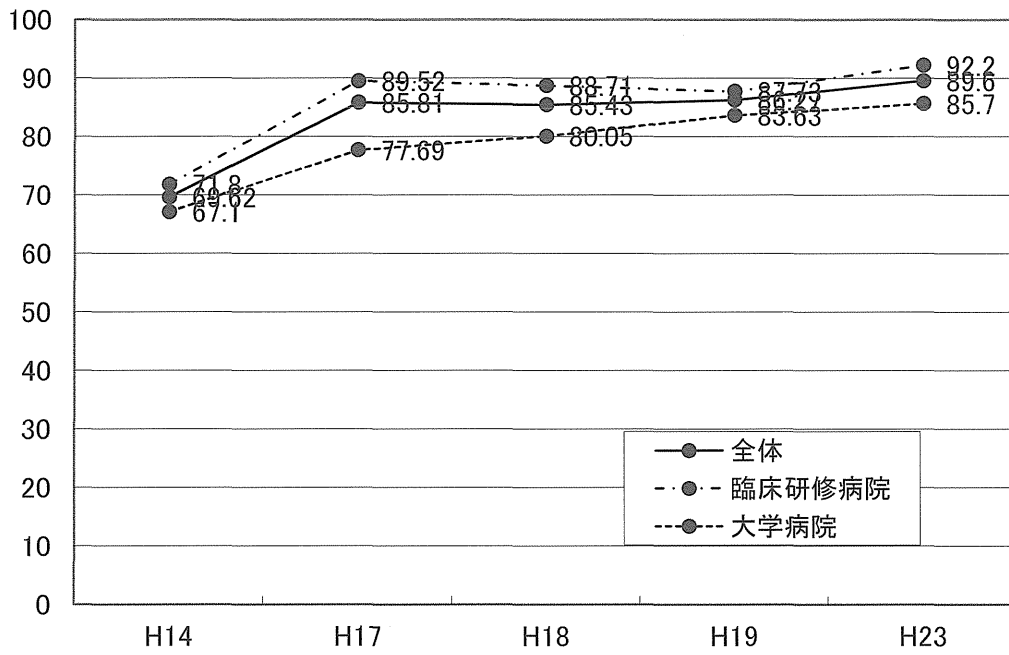
局所浸潤麻酔とその副作用に対する処置が行える



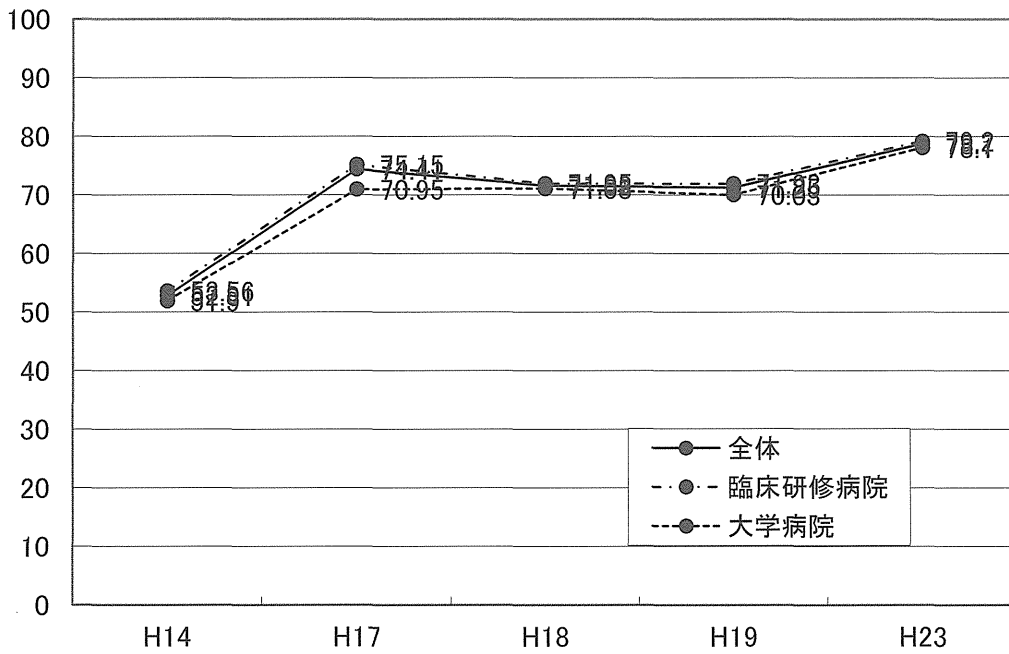
傷病の基本的処置として、デブリードマンができる



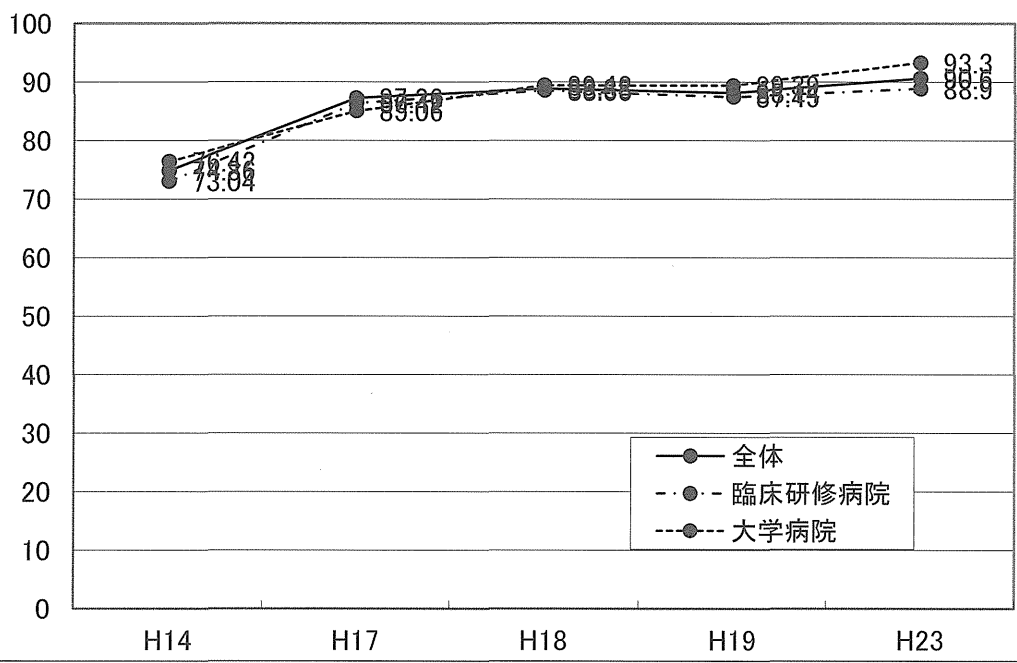
皮膚縫合法を実施できる



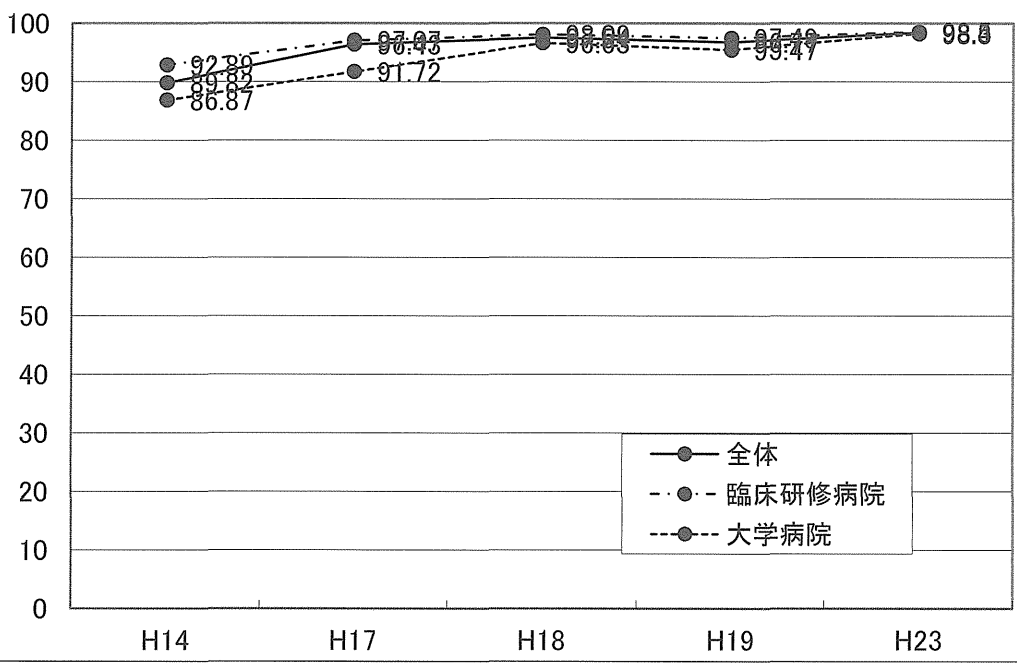
術後起こりうる合併症及び異常に対して基本的な対処ができる

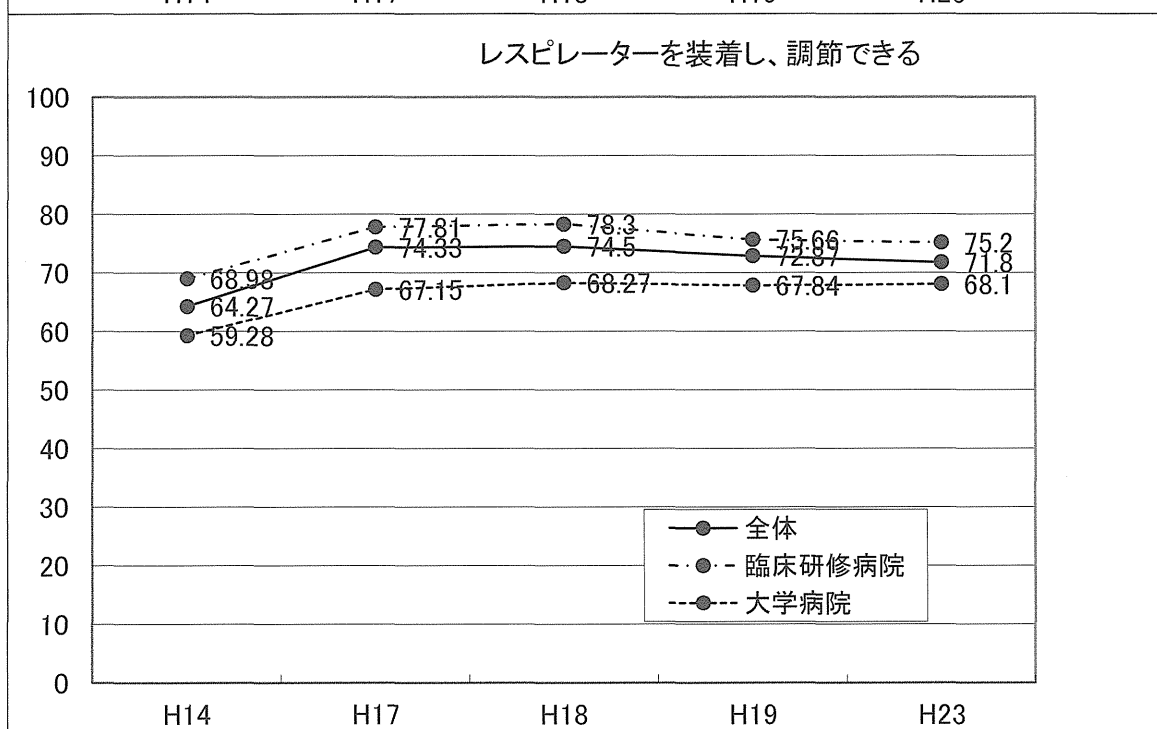
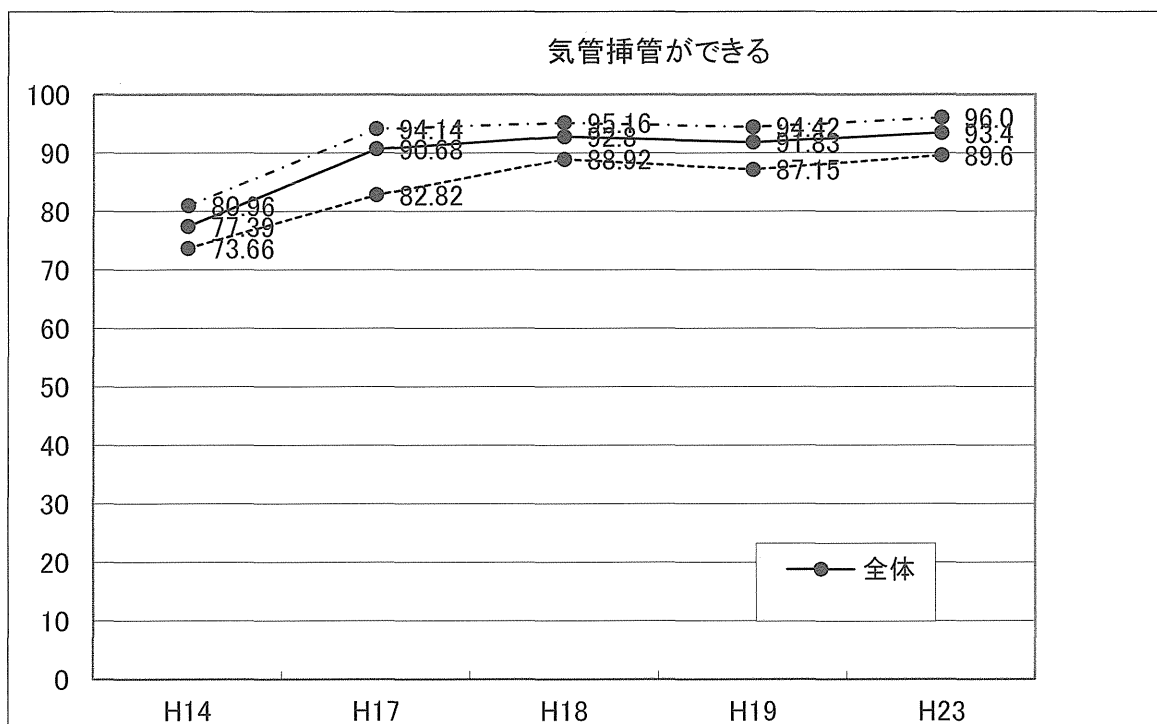


術前患者の不安に対し、心理的配慮をした処置ができる

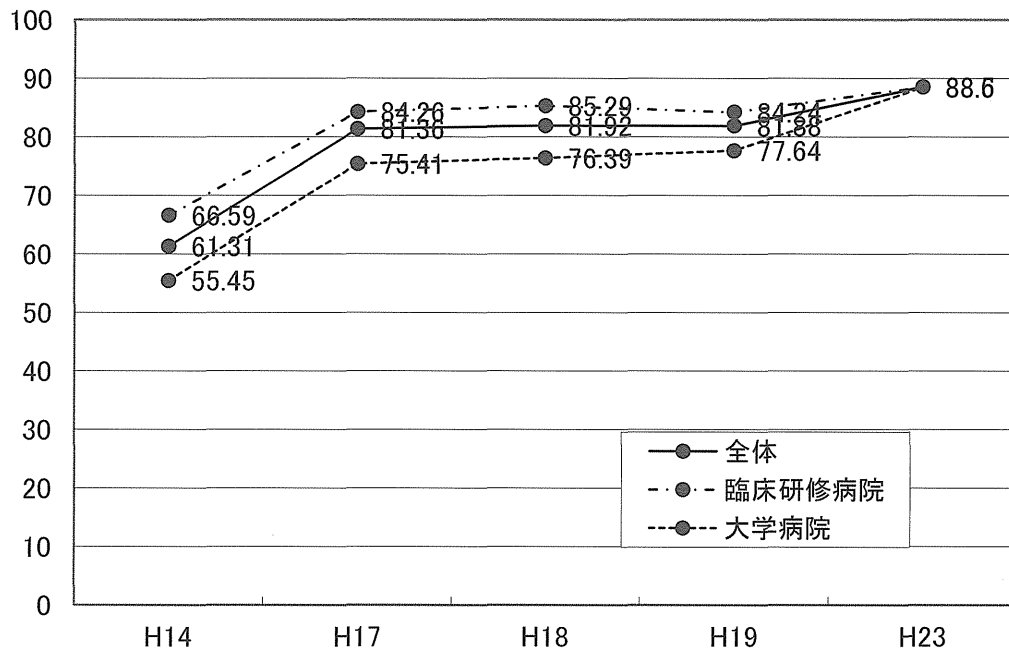


心マッサージができる

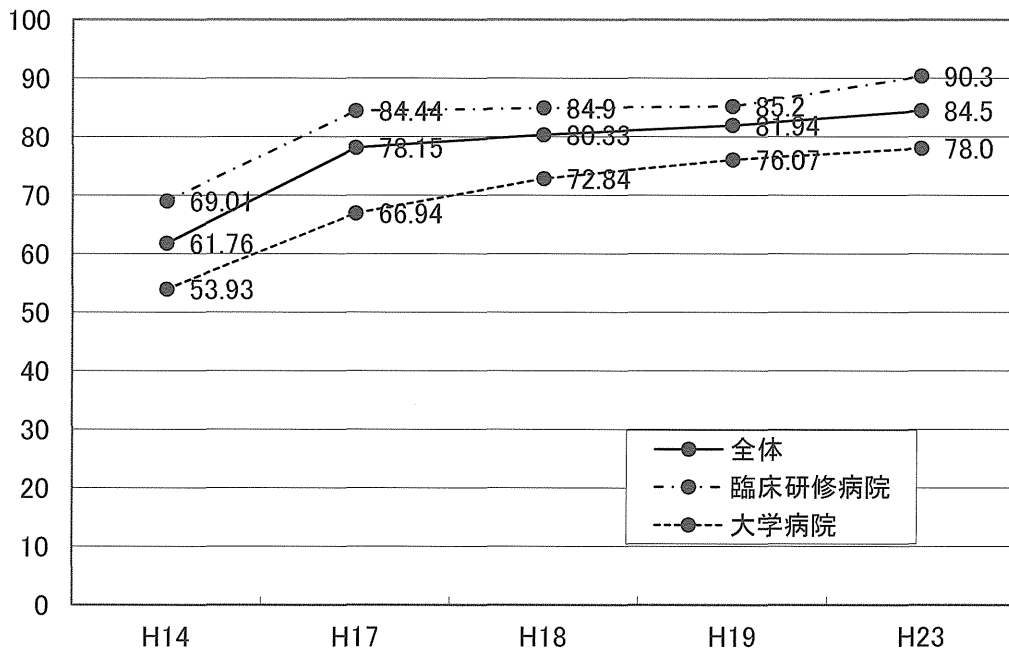




電氣的除細動の適応を挙げ、実施できる

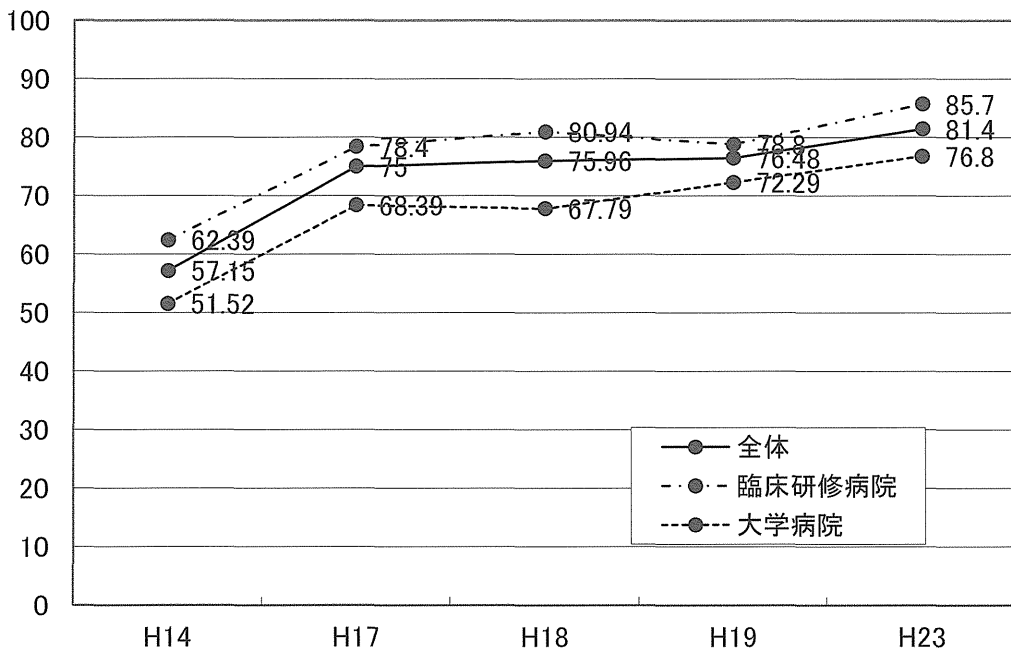


救急患者の重症度および緊急度を判断できる

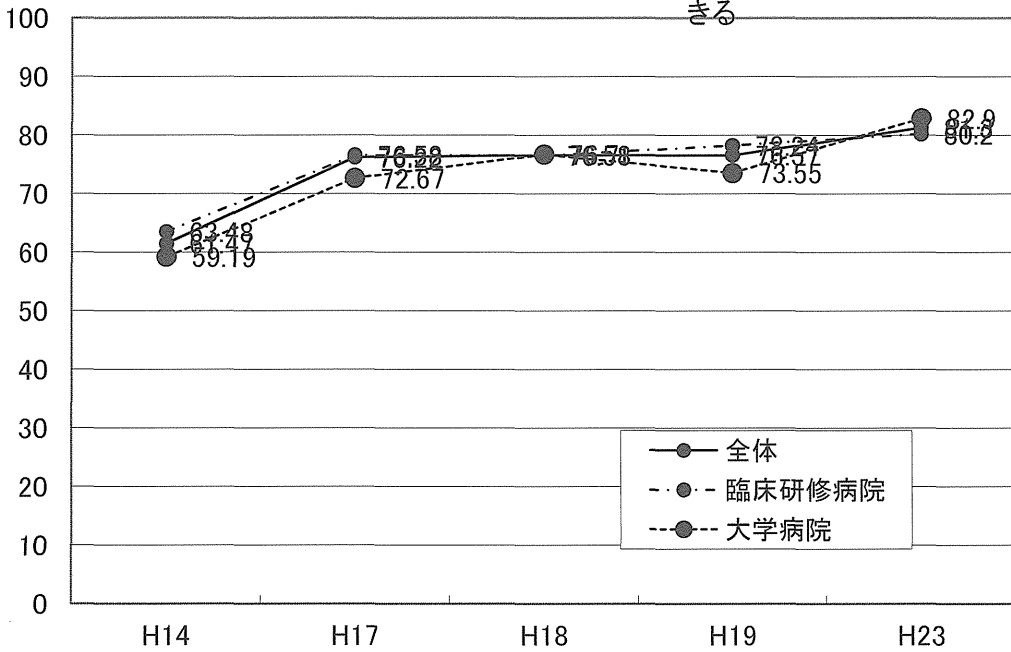




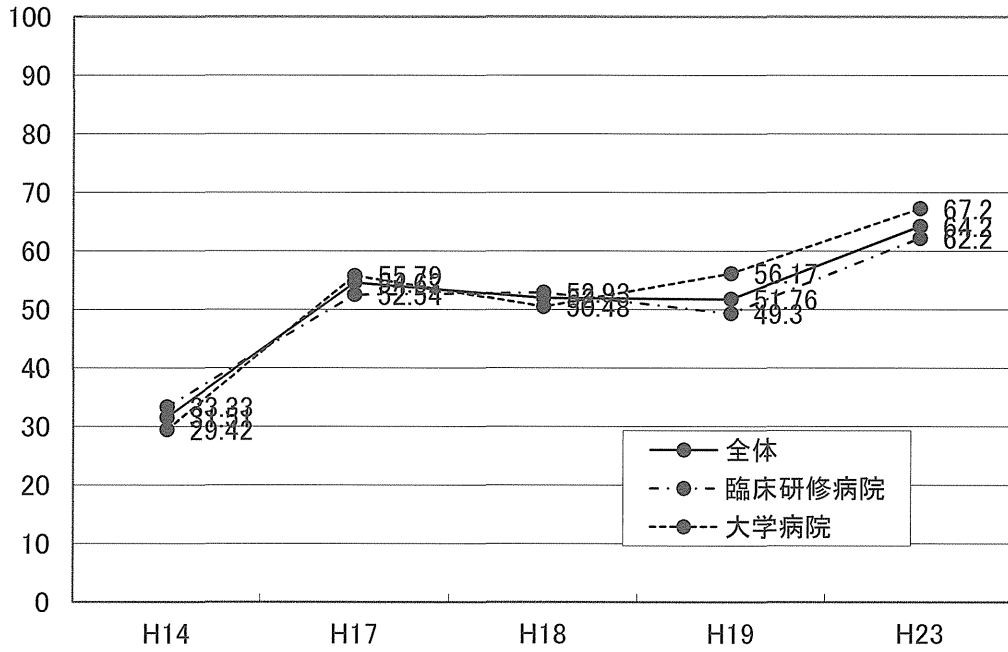
ショックの診断と治療ができる



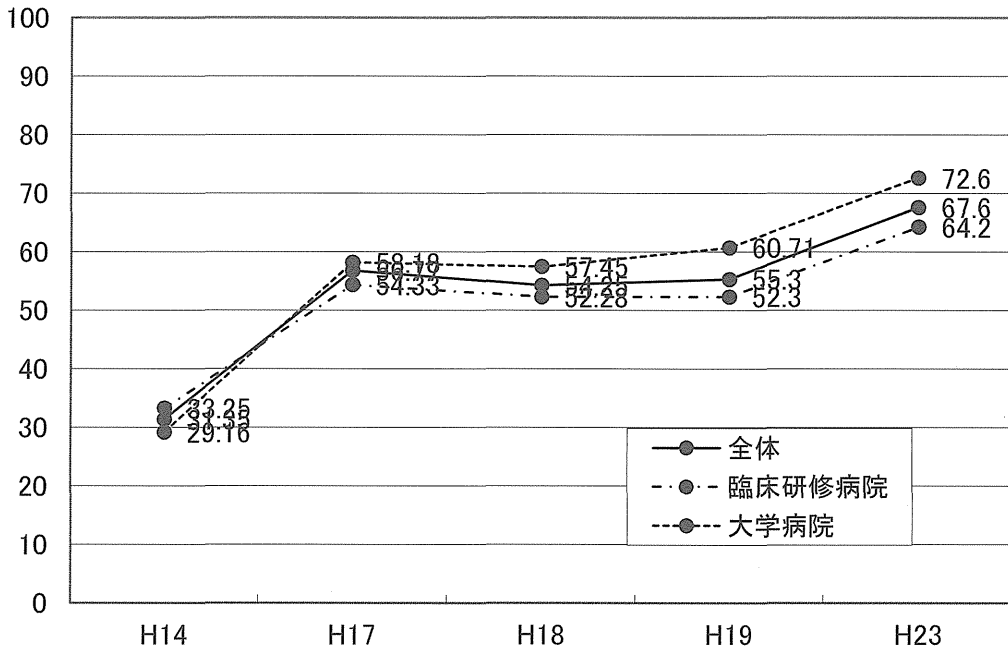
末期患者の家族に病気を説明し、家族の心理的不安を受け止めることができる



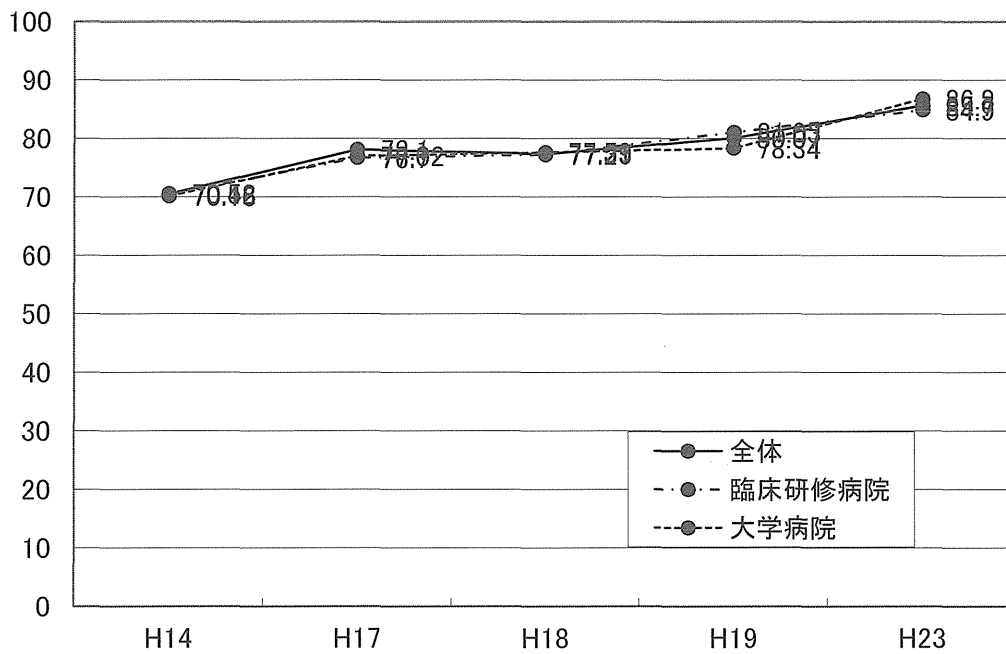
在宅医療を希望する末期患者のために、環境整備を指導できる



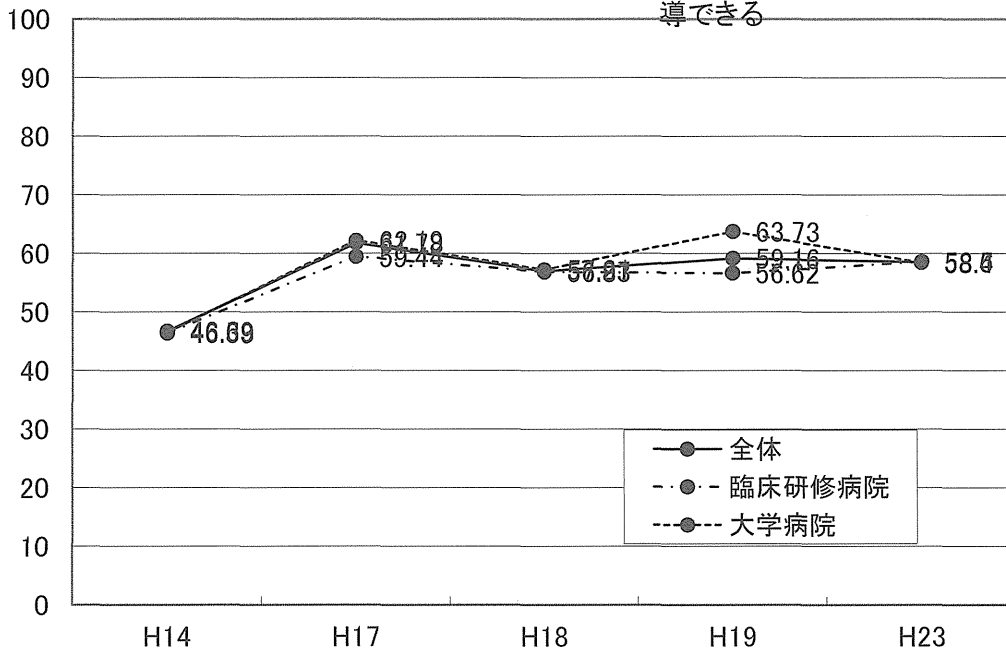
緩和ケア(WHO方式がん疼痛治療法を含む)のチーム医療に参加できる



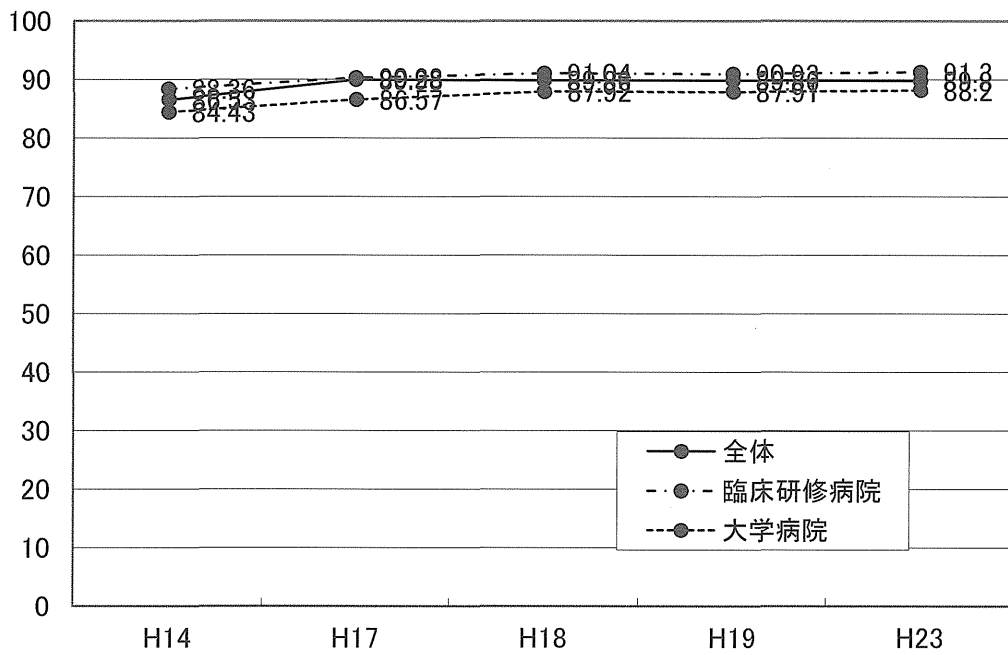
患者の身体的側面だけでなく、心理社会的側面に配慮した治療ができる



医療費や社会福祉サービスに関する患者、家族の相談に応じ、解決法を指導できる



インフォームドコンセントをとることが実施できる



指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる

